

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 コクチバス被害防止対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川・水産振興課コクチバス対策室コクチバス対策係 電話番号：058-272-1111(内4216)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,000 千円 (前年度予算額： 4,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000
要求額	4,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000
決定額	4,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

コクチバスは平成29年に岩屋ダム、令和元年に揖斐川と生息域を広げ、令和5年5月に美濃市内の長良川本川で確認された。コクチバスは外来生物法で特定外来生物に指定されている肉食魚であり、低水温環境へ適応できることと、高い遊泳力をもつことから河川において繁殖し、アユ等の水産資源に対する食害が発生する恐れがある。また、河川で一度定着・拡大してしまうと完全な駆除が極めて困難である。

そこで、岐阜県コクチバス駆除総合対策に基づき、コクチバスの買取事業に対し支援を行うとともに、漁協が実施する産卵床の監視・駆除、刺網による駆除及び駆除を目的とした釣り大会も支援する。

(2) 事業内容

- コクチバスの買取活動を支援
- 刺網等による駆除支援(越冬地、密集地)
- 春の産卵床監視・駆除支援
- 駆除を目的とした釣り大会等の支援

（３）県負担・補助率の考え方

コクチバス被害は木曽三川にまたがる広域問題である。さらに、生息数が増えると深刻な漁業被害が発生することから、県が対応する必要がある。県内各地で積極的な取り組みが行えるよう、事業補助率は1/2以内とする。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,000	コクチバス買取及び駆除の活動費への補助
合計	4,000	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

○ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和８年３月策定予定）

第４章 基本方針ごとの重点施策と主な取組

＜基本方針４＞ 安心できる農畜水産業と農村の環境整備

【重点施策】（４）生産を脅かすリスクへの対応

＜外来生物による被害への対応＞

（２）国・他県の状況

特定外来生物等による被害の防止措置に対する支援（水産庁基本方針）
栃木、群馬、長野、滋賀県においてコクチバスの買い取り補助を実施。

（３）後年度の財政負担

令和８年までに効果的な駆除方法の検討と漁協への指導を行い、漁協が自力で駆除を行える体制をつくる。

（４）事業主体及びその妥当性

内水面漁業振興法第十三条 地方公共団体は特定外来生物による内水面水産資源に対する被害を防止するため、当該被害を防止するための措置の実施に対する支援、駆除のための技術開発等必要な措置を講ずるよう努める。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	コクチバス被害防止対策事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県漁業協同組合連合会
補助事業の概要	<p>（目的）コクチバスの生息拡大および漁業被害の防止</p> <p>（内容）買取や駆除活動を支援することで、コクチバスの生息拡大および漁業被害の削減を図る。</p>
補助率・補助単価等	<p>定率</p> <p>（内容）事業に要する経費の1/2以内</p> <p>（理由）全国内水面漁業協同組合連合会が実施する内水面水産資源被害対策事業により、駆除事業の費用の1/2が補助されるが、残りの1/2を県単事業として補助する。</p>
補助効果	アユ漁業の生産性の向上に寄与
終期の設定	<p>終期9年度</p> <p>（理由）岐阜県コクチバス駆除総合対策（案）に基づき、木曽三川において、完全駆除又は低密度管理に移行する時期であるため。</p>

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>コクチバスの生息域において、買取及び駆除の体制を構築し、コクチバスの生息拡大及び漁業被害の削減を図る。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R5)	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
補助メニューを活用する流域	－	<ul style="list-style-type: none"> ・木曽川流域 ・長良川流域 ・揖斐川流域 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曽川流域 ・長良川流域 ・揖斐川流域 	<ul style="list-style-type: none"> ・木曽川流域 ・長良川流域 ・揖斐川流域 	－

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	－	－	3,061

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和5年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和6年度	<p>岩屋ダムを中心としたエリアで遊漁者が釣ったコクチバスを1流域で合計5,140尾、1,621kgの買い取りを行った。 コクチバスの産卵時期である春季に1流域で合計114日、173人にて産卵床監視及び駆除行為を行った。</p> <p>指標① 目標： 3流域 実績： 2流域 達成率： 66 %</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	コクチバスは外来生物法で特定外来生物に指定され、高い遊泳力と低水温環境への適応から、岐阜県のシンボルであるアユに対する食害が懸念されるものであり、県の関与は妥当である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	水産庁補助事業(補助率1/2以内)を活用できるのは、県下で岐阜県漁業協同組合連合会のみであり、併せて本事業を活用することで、効率化を図ることができる。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 駆除対象であるコクチバスの生態を理解しなければ、駆除することが難しいため、研修会等を実施する必要がある。</p>

(次年度の方角性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コクチバスは繁殖力が強く、駆除の手を緩めてしまうと爆発的な繁殖する恐れがあるため、継続的に駆除する必要がある。</p>
